

相続・遺言について調べる

香川県立図書館調べ方ガイド NO.3
平成30年12月

亡くなった人の財産を引き継ぐ「相続」は、財産の多寡に関わらず誰もが直面する可能性のある問題です。図書館にも「相続についての本はありますか？」といった質問がしばしば寄せられます。今回は香川県立図書館の蔵書から、相続や遺言について調べるために役立つ資料を紹介します。

1 相続についての本

相続についての図書は一般資料コーナーの**書架番号 1 2**にあります。分類は 324.7 件名は「相続法」となります。

『これ一冊で安心相続の諸手続き・届出・税金のすべて17-18年版』ナツメ社 2017
《32470/H11/1-4》

遺産相続の基本的な知識や法律上の手続き、相続税の申告書の作成などが詳しく解説されています。

『相続と遺言のことならこの1冊 はじめの一步』第7版 飯野たから／ほか執筆 自由国民社 2015
《32470/I7/1-6》

知っておくべき相続の知識、望ましい遺言の書き方がわかりやすく解説されています。

『わかる!相続法改正 すべての人が関わる相続ルールの変更を司法書士がやさしく解説』日本司法書士会連合会／編 中央経済社 2017 《32470/N13》

平成27年より進められている相続法の改正について司法書士が図表やイラストを用いて、やさしく解説しています。

相続税についての図書は一般資料コーナーの**書架番号 1 5**にあります。分類は 345.5 相続法となります。

『自分でできる相続税申告』福田真弓／著 自由国民社 2017 《34550/F4》

「遺産は自宅と金融資産だけ」「特例を使えば相続税はかからない」という人に向けて、自分で相続税の申告書をつくれるよう、わかりやすく解説しています。

『相続税相談所 気になる方はご遠慮なくお立ち寄りください。贈与税も承ります』平田久美子／著 中央経済社 2017 《34550/H6》

小規模宅地等の特例、有価証券、教育資金の一括贈与などでよくある相続税の質問にわかりやすく回答しています。

2 遺言についての本

遺言についての図書は一般資料コーナーの**書架番号 1 2**にあります。分類は 324.7 件名は「相続法」となります。

『終活にまつわる法律相談 遺言・相続・相続税』改訂 安達敏男／ほか著 日本加除出版 2017
《32470/A6/1-2》

終活、遺言、相続人、相続財産、遺産分割、相続税について、Q&A形式で分かりやすく解説。遺言書等の記載例もあり。

『高齢期を安心して過ごすための「生前契約書+遺言書」作成のすすめ』後東博／ほか著 日本法令
2017《32477/G1》

生前契約書の必要性や遺言書との関係などを解説。書式サンプルも収録。

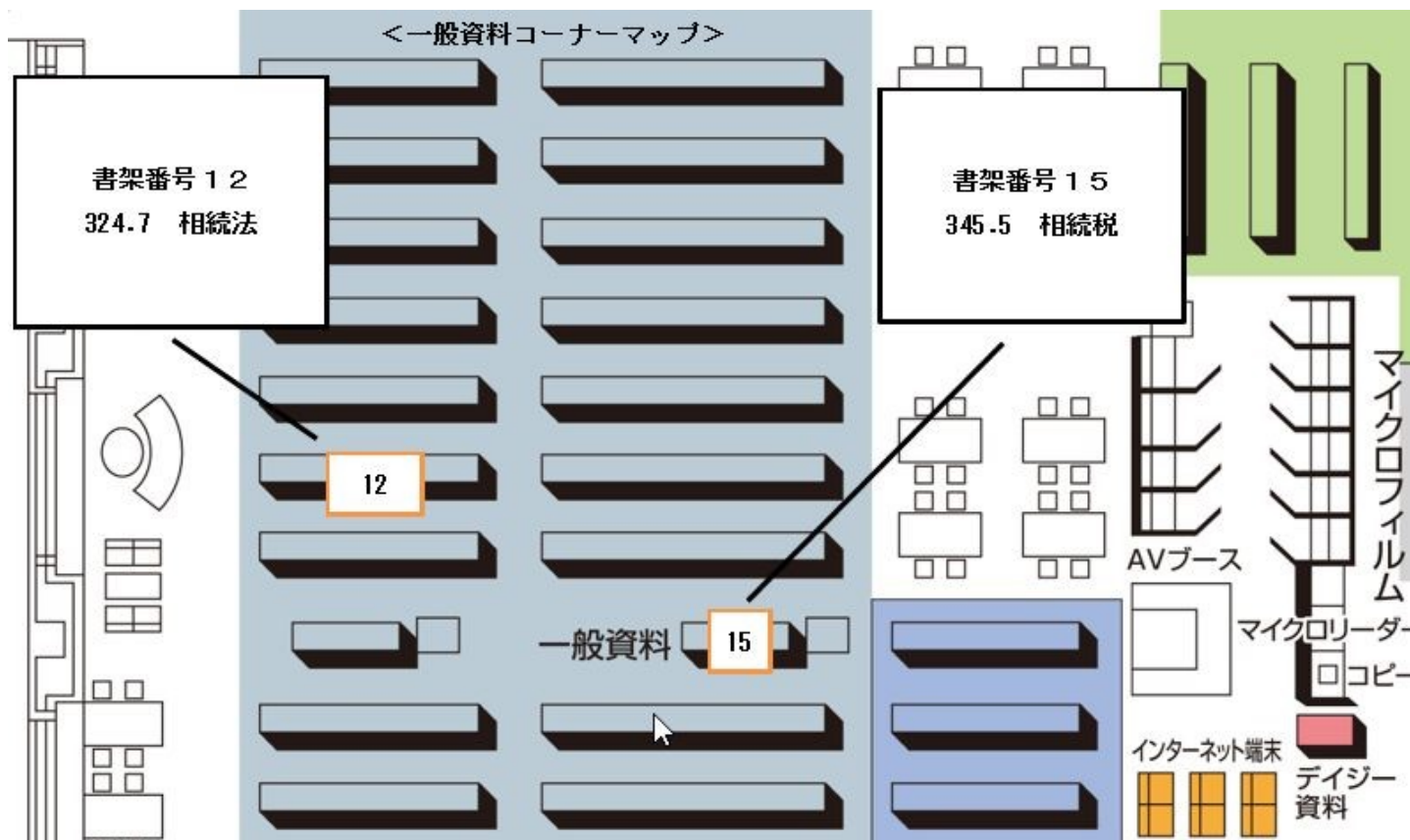
『わかりやすい遺言書の書き方 老活弁護士が教えます!』大竹夏夫／著 週刊住宅新聞社 2016
《32447/03/2》

相続専門の弁護士が丁寧に教える、「遺言書」の書き方の本。

『遺言モデル文例と実務解説』満田忠彦／ほか編 青林書院 2015《32477/M5》
遺言の主要な文例と留意点を公証人が端的に解説。

『遺言の書き方と相続・贈与 最新カラー版』主婦の友社／編 主婦の友社 2015 《32477/S3》
相続・贈与の知識と、正しい遺言書の書き方を、事例とともにわかりやすく解説。

『相続対策の9割は遺言書で決まる』本田桂子／著 家の光協会 2014《32477/H3/5》
「相続手続き」「相続税」「遺言書」の基礎知識などをわかりやすく解説。



※法令には法改正があり、書籍に掲載された情報が現在の最新情報でない場合があります。ご注意ください。

※図書館では資料や情報の提供は行いますが、法律相談には応じておりません。